

会 議 名	第3回港区放課GO→クラブなんざん運営事業候補者選考委員会
開 催 日 時	令和3年11月11日（木曜日）午後3時20分から午後4時50分まで
開 催 場 所	麻布区民協働スペース
委 員	出席者 6名 岡田委員長、富田副委員長、安梅委員、請川委員、白井委員、難波委員
事 務 局	麻布地区総合支所管理課長 櫻庭靖之、施設運営担当係長 駒井 担当 小林 小峰 宇野
傍聴者	なし
会 議 次 第	1 開会 2 議題審議 議題1 第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）について 議題2 運営事業候補者の決定について 3 閉会
配 付 資 料	[卓上配布] 資料1 第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）について 資料2 第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）表 資料3 第一次審査・第二次審査採点集計表 資料4 第2回港区放課GO→クラブなんざん運営事業候補者選考委員会 会議録 ・プレゼンテーション資料 ・第一次審査（書類審査）集計表（参考資料）
会議の結果及び主要な発言	
事務局	1 開会 （事務局より本日のスケジュールについて説明）
事務局	2 議題審議 議題1 第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）について （事業者Aによるプレゼンテーション実施）
委員長	それでは、質疑に入ります。
A委員	具体例が多くとてもわかりやすかったです。提案書からも、子どもたちの力を引き出すような関わりをしっかりとされている印象を受けました。 南山地域の強みを活かして、今後どのような活動をしていきたいか教えてください。

事業者A	<p>南山小学校は、国際学級も設置されており、国際的で多様性に富んだ環境下での活動が予想されます。</p> <p>プログラムを行うにあたっては、言葉や理解の違いがあっても同じルールの中で楽しく遊べるように、事前に視覚的にルールを教える工夫をします。</p> <p>外国籍の保護者の方にも安心していただけるように、おたよりの英語版を発行する、面談の際に英語対応ができる職員を配置する等、丁寧に対応いたします。</p>
B委員	<p>2点質問させていただきます。</p> <p>1点目は、新1年生は新しい環境への不安があると思うのですが、1年生を受入れる時の工夫や配慮があれば教えてください。</p> <p>2点目は、今後コロナ禍で異年齢交流が厳しい場合に、どのような工夫をしていこうと思っていますか。</p>
事業者A	<p>新1年生は、最初の一週間で、ゲームなど遊びの中で放課GO→クラブのルールを覚えてもらいます。学校が始まったら、時間の流れを視覚的に見せることを意識します。子どもたちは、日々の活動の中で流れやルールを覚え、学習の時間も座っていられるようになり、時間の流れも理解した上で自ら行動できるようになります。</p> <p>2点目の異年齢交流について、コロナ禍で高学年が利用自粛をすると1年生から3年生が中心の施設になることが考えられます。</p> <p>その中で、高学年がいなくても、3年生がリーダーとなり、プログラムの企画をし、低学年にルールを教えたり面倒をみる、その様子を見て低学年は3年生に憧れの気持ちを持つというように、縦割り生活の中での育ち合いの循環をつくれる工夫をしていきます。</p>
C委員	<p>2点質問させていただきます。</p> <p>1点目は、発達障害のある子どもや知的な遅れを持つ子どもとの関わり方について、大切にしていることがあれば教えてください。</p> <p>2点目は、区として今、子どもたちにタブレットを毎日持ち帰りさせているという実態があります。当然、放課GO→クラブの中でもタブレットを使って宿題をやる子どももいると思うのですが、施設内でのタブレットの使用について、どのように対応されますか。</p>
事業者A	<p>1点目について、実際に自分の意に沿わないことがあって、暴力を振るってしまうような子どもの受け入れをしたことがあります。その際は、保護者と関係機関と連携を図ることにより、療育の機会、教育の場が整い、目に見えて、親子関係も良くなりました。試行錯誤しながらですが、課題が出たときには、関係機関と連携をし、子どもにとって安心して過ごせる場になるように意識することを大切にしています。</p> <p>2点目について、タブレットに関しては、保護者の方に配信メールでタブレット使用のルールを発信させていただきます。学習の時間しか使用しないこと、管理は自分で行うことの2点を、保護者の方と約束できる子のみ利用</p>

D委員	<p>できるということで、対応させていただきます。</p> <p>2点質問させていただきます。</p> <p>1点目は、施設長候補者にお伺いします。職員管理で意識していることがあれば教えてください。</p> <p>2点目は、プレゼンの中で、本部が様々な施設に対して支援に入ることでしたが、人材確保が難しい中で、採用にあたり特に力をいれていることがあれば教えてください。</p>
事業者A	<p>職員管理については、情報共有をして連携をとることをとても大切にしています。子どもたちが安全に安心して活動するためには、職員が同じ方向を向いて、それぞれが責任持って見守りをする必要があります。日々私から周りの職員に対して感謝の気持ちを持つことを大切に、朝礼で子どもの情報や見守りで注意する点、職員配置を共有し、終礼で日々の振り返りをします。課題ができればミーティング等で話し合い、施設内研修を行うなどして、みなと同じ方向を見て対応する環境づくりを大切にしています。</p>
事業者A	<p>人材確保については非常に重大にとらえています。</p> <p>1点目は、人間性の高い職員を確保して、育成をすることに力を入れています。未経験でもしっかりと事業を理解してもらい、長く勤めてもらうことで人材確保ができると考えています。</p> <p>2点目は、離職を制限するという事です。特に正社員については、やりがい賃金になって現れるような形の等級制度を導入しています。離職率が少なく、育休等からも復帰しやすい体制が取れています。人材には、非常に自信を持っていますが、これからもより良い人材確保に向けて、本部も一丸となって取り組んでいきます。</p>
E委員	<p>2点質問させていただきます。</p> <p>1点目は、御社の得意分野として保育事業と介護事業との連携と伺っていますが、区内7施設で何か具体的に連携していることがあれば、教えてください。</p> <p>2点目は、施設長候補者にお伺いします。保護者の方や地域の方とのコミュニケーションで、具体的に工夫している点があれば教えてください。</p>
事業者A	<p>1点目について、区内には学童施設が7施設あり、その他に保育施設と介護施設を多数運営しています。コロナ禍の前は、保育施設の子どもを学童施設にお迎えし、交流を行っていました。また、職員の連携としては、保育と学童は切れ目がないものだと考えているので、研修は一緒に行っています。</p> <p>特に特別な支援を必要とする子どもへの対応については、当社の臨床心理士の研修で職員同士学び合っています。今後は、介護施設との連携を実現させていきたいと考えています。</p> <p>保護者との連携については、日々の交流を大切にしています。お迎えの際に日々のちょっとした様子をお伝えしたり、保護者会や親子プログラムなど</p>

	<p>で保護者同士が知り合いになる機会を提供したり、保護者の方に安心していただけるような取り組みをしています。</p>
事業者A	<p>2点目について、提案させていただいた味めぐりのプログラムでは、お礼状を子どもたちが渡しに行くと、地域のお店の方がとても喜んでお店に飾ってくださり、それを見た保護者が飾ってありますねと声をかけてくれることで、地域と施設と保護者の輪が取れる状況をつくることができている。そのようなプログラムを通じて、地域の方とコミュニケーションを図り、連携につなげることを大切にしております。</p>
F委員	<p>施設長候補者の方にお伺いします。今後の施設運営の抱負や取り組みたいことを教えてください。</p>
事業者A	<p>学校でもタブレットの使用が盛んになり、子どもたちもパソコンに触る機会が増えたので、プログラミングのプログラムを定期的にやっていきたいです。また、コロナが落ち着いたら、地域の高齢者や保育園との交流をしていきたいと考えています。</p>
委員長	<p>それでは時間となりましたので、事業者によるプレゼンテーション及び質疑を終了いたします。</p>
事務局	<p>議題2 運営事業候補者の決定について 第二次審査結果の説明 事業者Aは、1815点満点中1437点で、加点項目分を除く得点率は79.7%という結果です。</p>
委員長	<p>それでは、この点数を受けまして、各委員の皆様からご講評をお願いし、内容を審議いたします。</p>
A委員	<p>本社のバックアップ体制と施設長が素晴らしいという印象を受けたため、高い点数をつけました。</p>
B委員	<p>全部に4点をつけました。新1年生の対応や異年齢交流について質問させていただきましたが、ルールを教えるなど1年生がわかってないから教えなきゃいけないというような感じの回答だったので、5点はつけませんでした。 他は、南山の地域特性をよく理解しており、具体的で、概ね良かったと思います。</p>
C委員	<p>施設長候補者は、経験も豊富で学校との連携に取り組んでいただける印象を受けたので高く評価をしました。</p>
D委員	<p>基本すべての項目に優れているという判断をしました。中でも、本部のバックアップ体制、研修の体制等がしっかりしていることについて、高く評価</p>

	<p>をしました。</p> <p>また、施設長候補者は、経験豊富で、安定感安心感があり、非常に良かったと思いますので、こちらも高く評価をしました。</p>
E委員	<p>私も施設長候補者のコミュニケーション能力が素晴らしいと感じました。保護者だけでなく、味めぐりのプログラムなどを通じて、地域とのコミュニケーションも大切に施設運営をできるところを評価させていただきました。また、本社のバックアップ体制についても、今後の可能性を見込み評価させていただきました。</p>
F委員	<p>第一次審査でも高得点をつけましたが、期待どおりの事業者だと感じました。施設長候補者は、しっかりとした良識と誠実な人柄が感じられました。</p>
委員長	<p>各委員からの意見を受けて、点数の変更はございますでしょうか。</p>
全委員	<p>(変更なし)</p>
委員長	<p>それでは、第一次審査・第二次審査合計点数を発表します。 事業者A 合計点数1437点 得点率79.7% (加点項目分除く) よって、港区放課GO→クラブなんざん運営事業候補者は事業者Aでよろしいでしょうか。</p>
全委員	<p>了承</p>
委員長	<p>それでは、当委員会として、港区放課GO→クラブなんざん運営事業候補者は事業者Aに決定いたします。 事務局は、決定した運営事業候補者を発表してください。</p>
事務局	<p>港区放課GO→クラブなんざん運営事業候補者として決定した事業者Aにつきましては、ライフサポート株式会社でございます。</p>
委員長	<p>3 閉会 以上をもちまして、港区放課GO→クラブなんざん運営事業候補者選考委員会を終了いたします。</p>